

障害者県民会議の活動及び今後の活動

資料1

障害者県民会議（H23.9.20設置）8回・班長会議 2回・班会議 5回 実施

9回以降～

・県内十九カ所（宮古・八重山地域含む）及びアンケートを実施
 における事例ヒアリング

9月～1月

1月～3月

第一段階

事例を分野別に仕分け

（どのような状況・場面でおこったのか等の視点から分類）

1. 福祉	146件
2. 医療	47件
3. 商品販売・サービス提供	53件
4. 雇用	48件
5. 教育	80件
6. 建物等・公共交通機関	90件
7. 住まい	18件
8. 情報の提供等	32件
9. 所得	4件
10. その他	122件
合計	640件

第二段階

事例を類型別に仕分け

（どのような内容であるか等の視点から分類）

1. 差別及び不利益と思われる事例	103件
2. 虐待と思われる事例	8件
3. 合理的配慮の欠如と思われる事例	68件
4. つらい事、いやな事等であり、なくして欲しい事例	443件
5. その他意見	18件
合計	640件

議論

解決のための取り組み方策

1. 障害者の権利擁護のための具体的な取り組み方策
 - (1) 差別及び不利益取り扱いの禁止
 - (2) 虐待の禁止
 - (3) 合理的な配慮
2. 障害に対する理解の促進
 - (1) 障害者理解に関する広報啓発
 - (2) 関係者への研修の充実
3. 障害者の権利擁護に関する相談体制
 - (1) 窓口の設置
 - (2) 解決の方法
4. 障害者支援に関する施策
 - (ア) 福祉サービスの支援の充実
 - (イ) ユニバーサルデザイン及びバリアフリーの促進
 - (ウ) 教育分野の施策充実
 - (エ) 障害者就労の支援
 - (オ) 障害者のエンパワーメントの充実
 - (カ) 情報提供の促進
5. 県民の協力

意見

「障害者の権利擁護の推進を目的とした条例」の策定にかかる障害者県民会議の意見